



発行 緒川地区コミュニティ
推進協議会 ☎83-3006

編集 総務・広報部
機関紙編集委員会

発行日 2024年1月1日
第209号



揮毫



日々新たな里^り龍

日に日に新しくなる。絶えず進歩する。
(「礼記」大学から)

泉書道会 浦山洗道さん



年頭のごあいさつ

緒川地区コミュニティ推進協議会会長 内藤明綱

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、心よりお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も何とか収まり、現在は五類に移行し、人の往来はかなり自由になってきました。油断はできません。

今年度もあと少しです。新型コロナウイルス・インフルエンザの感染対策をしっかりと行いながら、コミュニティ活動を進めていきたいと思っております。

さて、10月の区民体育祭は、雨天のため中止になってしまいました。4年ぶりに開催するにあたり、おぼろげな記憶をたどりながら準備を進めてきました。そのような関わりの中で、皆さんの心はつながったのではないかと思います。本当にありがとうございました。



HAPPY NEW YEAR



また、コミュニティまつりは

晴天の中、多くの方に参加いただき、例年にないにぎわいでした。ご迷惑をおかけしたこともありましたが、来年度は皆様により楽しんでいただけますように努めたいと思います。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を祈念し、年頭のごあいさつといたします。

緒川行進曲

作詞 久野 敏
曲 東京行進曲

昔恋しい緒川のお城
東照権現さんは誰が産んだ
愛し夫の御身替わりに
海に入ります尊さよ

広い緒川の寺々参り
出たか伝宗院東光寺
門徒了願寺法華の越境寺
かき殻地藏に善導寺

桜見ましようか八幡さんの桜
いっそ行きましょ乾坤院
川の堤に鎮守の紅葉
凍る寒さも富士景気

恋の相生あの松の枝に
啼いて友呼ぶたずの声
玉の緒川の行く末賭けて
高く響かん高根山

緒川行進曲を知っていますか。昨年度の新春カラオケ演芸大会でいきいき合唱隊の皆さんによって披露されました。

緒川行進曲は昭和初期にはやった東京行進曲の替え歌です。この替え歌を昭和10年頃の小学生がよく歌っていたそうです。当時を覚えている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

この曲は、その当時、緒川小学校長として勤めてみえた久野敏先生が緒川の歴史、名所を織り込んで替え歌にしたものです。

久野先生は明治39年9月、昭和4年9月まで緒川小学校長として長年にわたり、郷土教育のために尽力された方です。

そして、昭和30年新春、小学校の中庭に銅像が建立されました。おがわつ子の成長を見守るかのよう。今でも中庭の隅に立っています。



'23おがわコミュニティまつり



11月5日(日)

絶好の天気にも恵まれ、コミュニティまつりが開催されました。各コーナーとも順番を待つ長い行列ができ、大盛況のうちに予定終了に達したり、売り切れになってしまったりで、今後の課題したいと思います。

文化展も出品者の皆さんの日ごろの精進が伺える作品が並び、来



場者も足を止めて熱心に観賞されていきました。

今回、新たに催したかるた大会では、札をみる子どもたちの真剣なまなざしが特に印象に残りました。

今年度の反省点を改善し、来年度もより楽しいまつりにしていきたいと思えます。

総務・広報部副部長 山下 義之



行事予定

今年度最後の行事です。ご参加ください。

1/14(日)新春もちつき・カラオケ演芸大会



おがわっ子広場

全力疾走フェスティバル

4年 鈴木咲智

私は、今回のフェスティバルで、二つのげきに取り組みました。まず一つ目のげきは、学年のコーナーで行った「一つの花」のげきです。本番が近づくとつれ、衣しようができていかなかったり、ぶたいがつかれていなかったりと、不安もありましたが、計画を立て直しながら、本番までに準備を整えることができました。その他にも、空いた時間で歌やダンス、セリフの練習も行いました。こうした努力が実り、フェスティバル本番、観客席を見ると満席で、とてもうれしかったです。私は、本番が成功したのはみんなのおかげだと思います。みんなで全力を出しきることができてよかったです。



二つ目のげきは、首脳部の一員として行ったオープニングのげきです。私は、おがわっ子の役をしました。この役は、セリフが多いので、覚えることに時間がかかりましたが、たくさん練習したので覚えることができました。放課後の練習では、美さいにぶたいで練習するなど、大変でしたが、本番はけっこう大きな声でセリフを言えたのでよかったです。先生や友達、家族からも、「げき、すごくよかったよ。」とほめてもらえたので、とってもうれしい気持ちになりました。

二つのげきに取り組んでみて、私自身もチャレンジパワーでさらに元気になることができました。残りの4年生の時間もこのパワーで最後までがんばっていききたいです。

当日は、とても暑い日になりましたが、130名の参加者のもと訓練を行うことができました。今年、新たな取り組みとして、炊き出しを行いました。ハイゼックス(袋)に、分量の米と水を入れ、輪ゴムで縛り湯せんします。とても簡単にご飯が炊けることを知りました。そして、とってもおいしかったです。

例年通りの体験コーナーに加えて、少しずつ変化を持たせた訓練を行い、いつ来るかわからない南海トラフに備えたいものです。「自分の身は自分で、家族は自分で守る。」防災への意識を皆さんで高めていきましょう。



協力してくださった皆さま、ありがとうございました。
防犯・防災部 副部長 石川真由美

編集後記

コロナによる人数制限など、各種制限がなくなりました。体育祭や文化祭、お祭りなどのイベントが開催され、コロナ前に戻りつつあります。

縁あって、大学の文化祭で学生のファッションショーを観覧しました。学生たちの発想、創造、表現など何もかもがとてもしばらしく、圧倒されました。やはり、その場で体験することは、画面越しでは味わえない感動がありました。身近な行事やイベントに参加し、心豊かな年になりますように。

〔機関紙編集委員会〕

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 猪塚 真里 | 小川 千恵 | 高津 彩 | 仲川 靖晴 | 野村 治彦 | 【委員長】 山崎 宏子 |
| 石川真由美 | 中村 耕右 | 児玉 成美 | 丹羽 要 | 山下 義之 | |